

IV 介護家族の調査結果

配布数 200 件、そのうち返信により回答があったものは 130 件、回収率 65%であった。返信のうち 3 件は期限を越えての回収であったため、今回の集計は 127 件で行った。返信の 127 件のうち介護家族の回答があったもの 110 件であった。

<家族介護者の方についてお尋ねします>

問 1 あなたの性別はどちらですか。

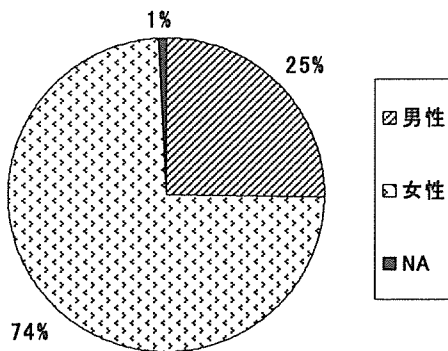


図1:性別

男性が 30 名 (27.3%)、女性が 76 名 (69.1%) 無回答 4 名 (3.6%) で、女性の介護者が男性介護者の約 2.5 倍であった。

問 2 あなたの年齢を教えてください。

介護者の平均年齢は、65.8 歳であった。

問 3 療養者との続柄は？

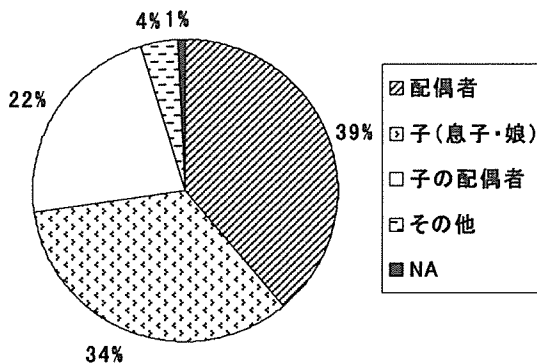


図2:続柄

要介護高齢者の配偶者は 40 名 (36.4%)、息子または娘は 35 名 (31.8%)、子の配偶者は 23 名 (20.9%)、その他 4 名 (3.6%)、無回答 8 名 (7.3%) であった。

問4 職業はお持ちですか？

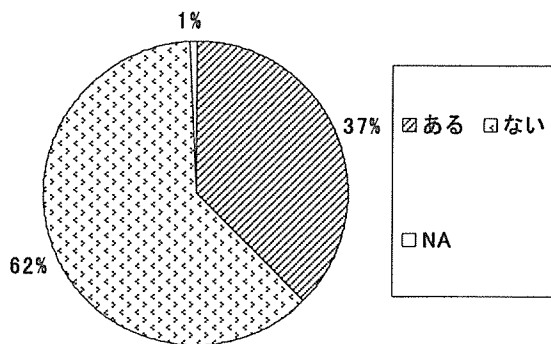


図3:仕事の有無

介護家族で仕事を持っている人は 40 名 (36.4%)、もっていない人は 66 名 (60%)、無回答 4 名 (3.6%) であった。

問5 対象者の介護を何年されていますか？
平均介護年数は、4.3 年であった。

問6 介護者であるあなた自身は介護認定を受けておられますか？

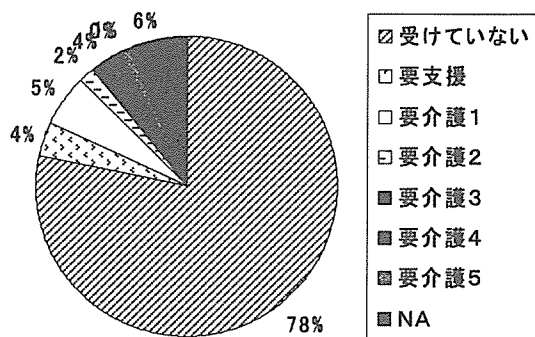


図5:要介護度

受けていない人は 87 名 (79.1%)、要支援 4 名 (3.6%)、要介護 1 は 6 名 (5.5%)、要介護 2 は 2 名 (1.8%)、要介護 3 は 4 名 (3.6%)、要介護 4 は 0 名 (0%)、要介護 5 は 1 名 (0.9%) であった。受けていない人が約 80% を閉めていたが、何らかの介護を要する家族介護者も約 15% 見られた。

問7 あなた自身の体調についてお尋ねします。

1) 体調は

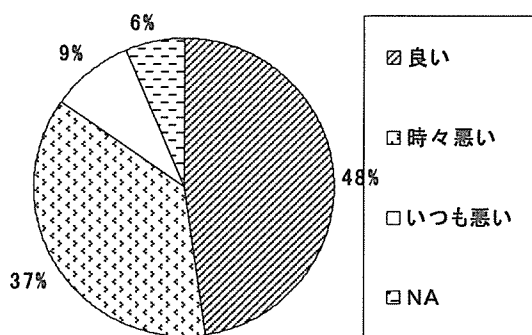
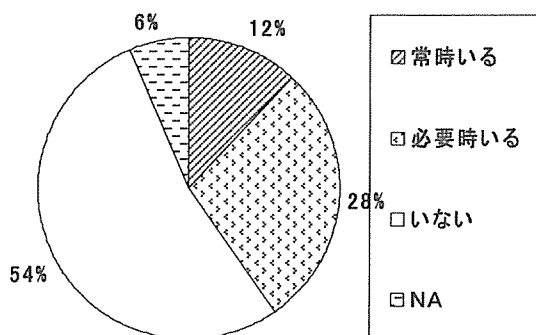


図6:体調は？

家族介護者の体調では、「良い」が 53 名 (48.2%)、「時々悪い」が 41 名 (37.3%)、「いつも悪い」が 10 名 (9.1%)、無回答が 6 名 (5.5%) であった。

約半数は体調が悪いと答えていた。

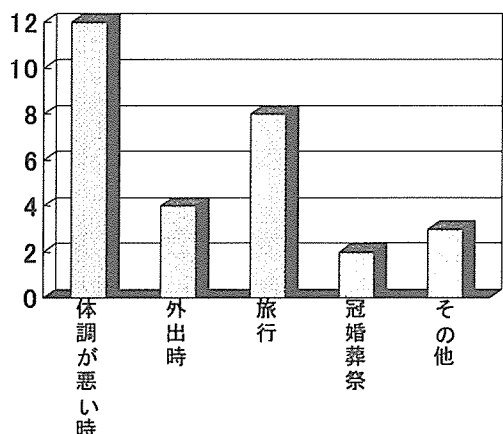
問8 介護を交代できる人がいますか？



家族介護の交代ができる人が「常時いる」と答えたものは13名(11.8%)、「必要事項大河いる」は31名(28.2%)、「いない」と答えたものは58名(52.7%)、無回答8名(7.3%)であった。約半数の人は、体調が悪い時でも介護の交代を頼める人がいないと答えていた。

図7:介護の交代者は

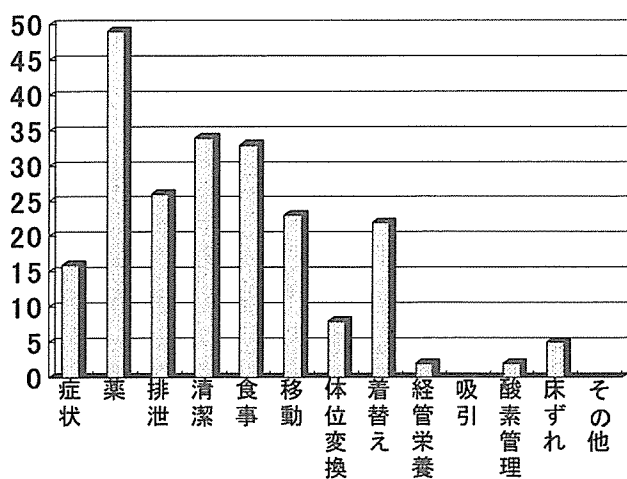
問9 問8で(2)必要時交代があると回答した方はどのような時に交代を頼めますか？



交代を必要時頼める人は44名であったが、交代を頼む理由は、体調が悪い時が最も多く12名、その他外出、旅行、冠婚葬祭などであった。

図8:交代を頼む理由

問10 普段あなたや家族の方が行っている介護内容に○をつけてください。(複数回答可)



「1. 症状に関すること」は16名(14.5%)、「2. 薬に関すること」が最も多く49名(44.5%)、「3. 排泄に関すること」は26名(23.6%)、「4. 清潔に関すること」34名(30.9%)、「5. 食事に関すること」33名(30%)、「6. 移動に関すること」は23名(20.9%)、「7. 体位交換」8名(7.3%)、「8. 着物の着替え」22名(20%)、「9. 経管栄養」2名(1.8%)、「10. 吸引」0名で「11. 酸素管理」は2名(1.8%)、「12.

床ずれ処置」は5名(4.5%)、「13. その他」41名(37.2%)であった。

図9:介護内容

問 11 介護を行う上で困難だと感じることに○をつけてください。(複数回答可)

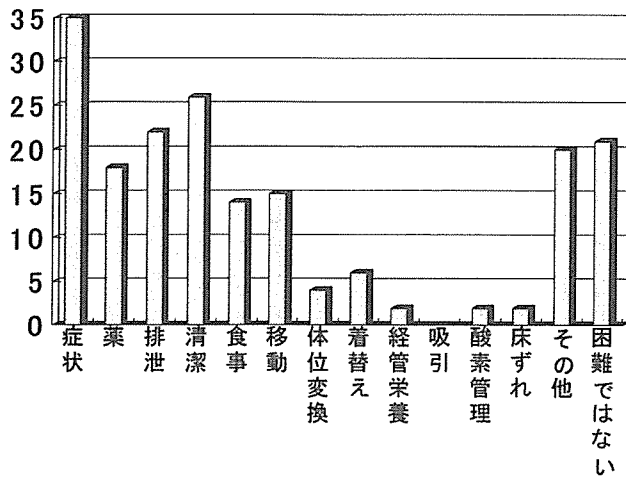


図10:介護上困難を感じることに

(1.8%)、「13. その他」20名(18.2%)、「困難を感じていない」と答えたものも21名(19.1%)あった。

「1. 症状に関すること」は35名(31.8%)、「2. 薬に関すること」18名(16.4%)、「3. 排泄に関すること」は22名(20%)、「4. 清潔に関すること」26名(23.6%)、「5. 食事に関すること」14名(12.7%)、「6. 移動に関すること」は15名(13.6%)、「7. 体位交換」4名(3.6%)、「8. 着物の着替え」6名(5.5%)、「9. 経管栄養」2名(1.8%)、「10. 吸引」0名で「11.酸素管理」は2名(1.8%)、「12. 床ずれ処置」は2名

問12 一番多く取る困ったときの対処方法を1つだけ教えてください。

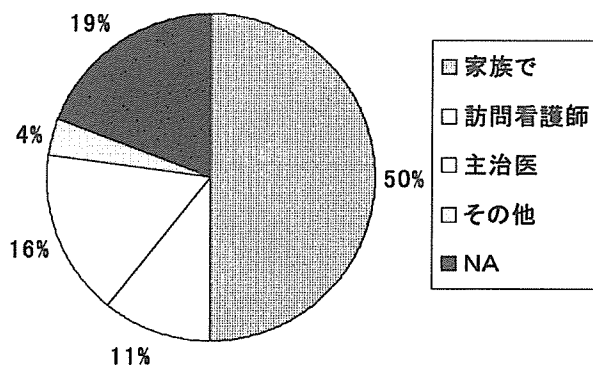


図11:対処方法

「家族で対処する」と答えたものは55名(50%)、「訪問看護師に連絡する」は12名(10.9%)、「主治医に連絡する」は18名(16.4%)、その他4名(3.6%)、無回答は21名(19.1%)であった。半数は困ったときに家族で対応すると答えていた。

問13 在宅療養を送る上で不安がありますか？

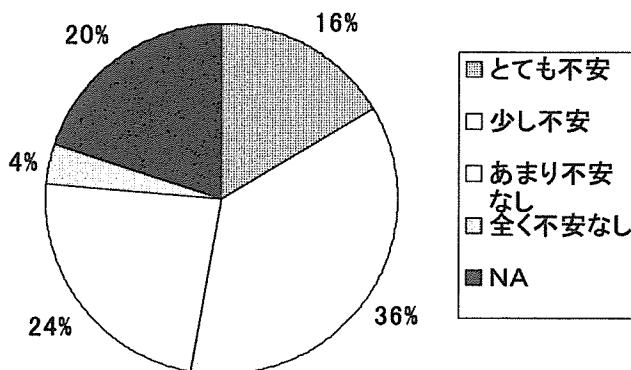
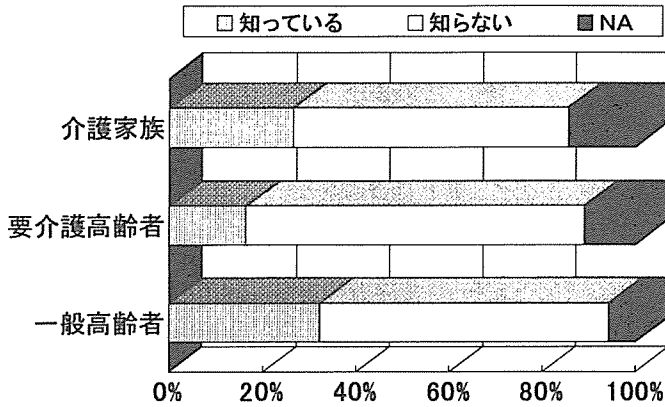


図12:在宅療養に不安があるか？

とても不安と答えたものは18名(16.4%)、少し不安は40名(36.4%)、あまり不安はないは26名(23.6%)、全く不安はないは4名(3.6%)無回答は22名(20%)であった。少しでも不安のあると回答したものは、約53%見られた。

V 遠隔医療・遠隔お買い物システムについて

問1. この携帯型テレビ電話について御存知ですか？

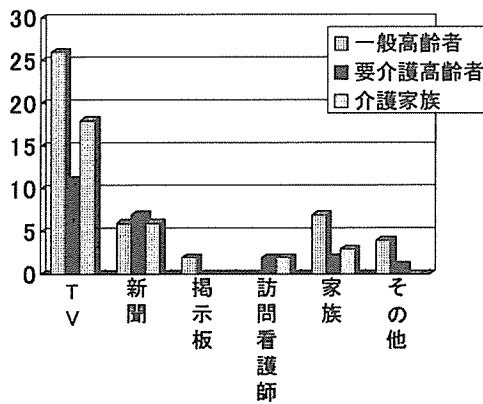


「知っている」と答えたものは、一般高齢者で32.1%、要介護高齢者で16.5%、介護家族で26.4%であった。

平均25%で、対象者の4人に1人は知っていると答えている。

図1: 携帯型TV電話を知っているか？

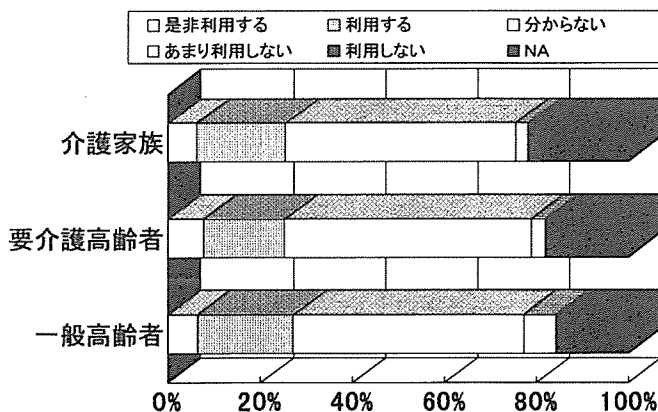
問2 問1で(1) 知っていると回答した方は何でお知りになりましたか？



携帯型TV電話を知る情報源は、TVが最も多く、次に新聞であった。

図2: なんで知りましたか？

問3 今後、在宅で携帯型テレビ電話を利用して医師と相談できるサービスを利用したいと思われませんか？



「是非利用したい」「利用したい」と答えたものは、一般高齢者で37%、要介護高齢者で37.2%、介護家族で39.4%であった。

「分からない」と答えたものはいずれも約半数で、「あまり利用したくない」「利用したくない」では、一般高齢者で13.5%、要介護高齢者で10.2%、介護家族で5.4%であった。

図3: TV電話を利用したいか？

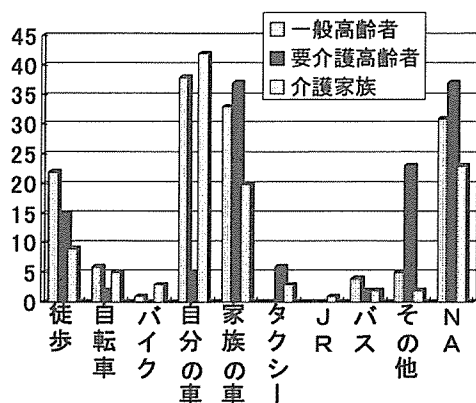
問6 食料品や日常生活用品の買い物についてお尋ねします。

1. 普段に利用するお店について

1) 普段の買い物の頻度はどのくらいですか。

一般高齢者では週に 1.9 回、要介護高齢者では週に 1.6 回、介護家族では週に 2.4 回であった。

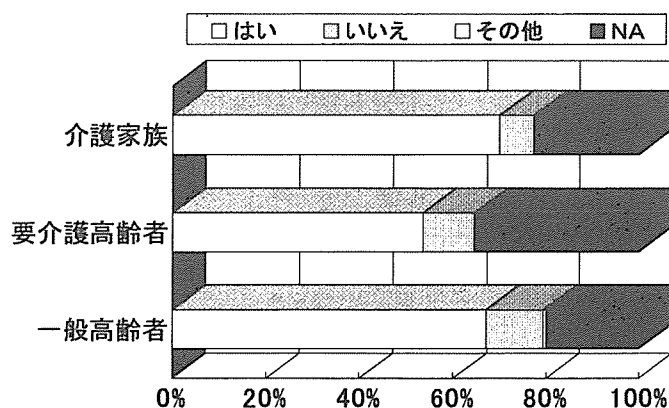
2) 普段の買い物に行く手段を教えてください。



普段の買い物に行く手段は、一般高齢者で自分または家族の車を使う場合が 50.7%、要介護高齢者で 33%、介護家族で 56.4%と、車の利用が最も多かった。次に徒歩であった。公共交通機関の利用は少なかった。

図4: 買い物手段は？

3) 普段行くお店で必要なものはそろいますか。



「普段の買い物で必要なものはそろいますか」について、一般高齢者で 67.1%、要介護高齢者で 53.5%、介護家族で 70%が「はい」と答え、「いいえ」と答えたのは、一般高齢者で 12.1%、要介護高齢者で 11.0%、介護家族で 7.3%であった。

図5: 普段の買い物で必要なものはそろいますか？

4) 定期的に宅配を利用されていますか。

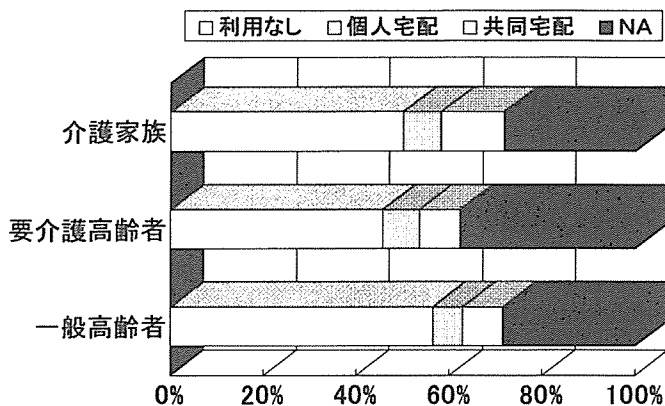


図6: 宅配は利用しているか?

宅配を利用しているのは、一般高齢者で15%、要介護高齢者で16.6%、介護家族で21.8%であった。利用していないものも多く、56.4%、45.7%、50%で平均50.7%、約半数は利用していないと答えている。

5) 移動販売車を利用されていますか。

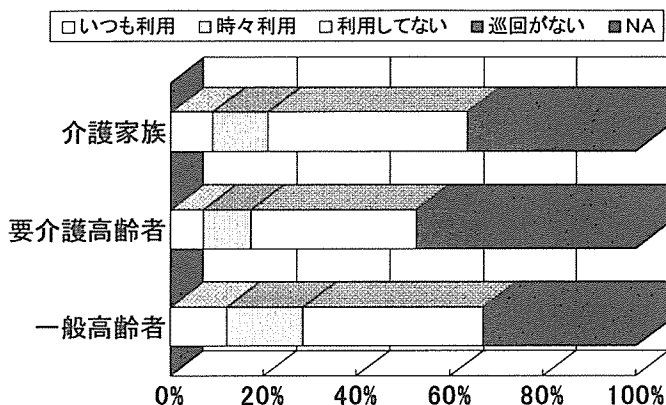


図7: 移動販売車の利用は?

移動販売車を「いつも利用している」「時々利用している」のは、一般高齢者で28.5%、要介護高齢者で17.3%、介護家族で20.9%であった。利用していないものも多く、38.6%、35.4%、42.7%で平均38.9%であった。

2. 遠くの大型ショッピングセンターについて

1) 買い物の頻度はどのくらいですか。

一般高齢者では週に3.5回、要介護高齢者では2.2回、介護家族では4.2回であった。

2) 大型店への買い物に行く手段を教えてください。

普段の買い物と同様に、大型店でも車を利用するケースが多かった。一般高齢者で70%、要介護高齢者で38.6%、介護家族で64.6%が車を利用していた。

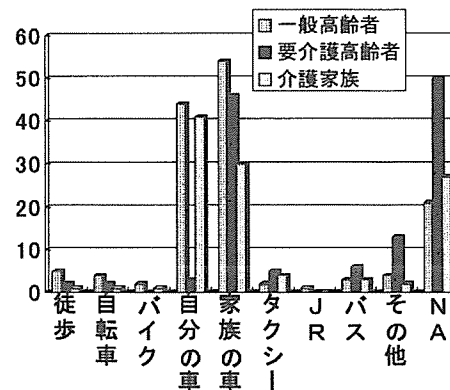
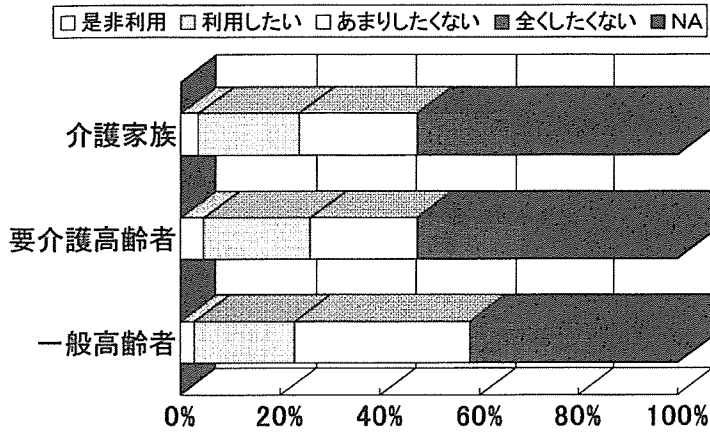


図8: 大型店への買い物手段は?

問7 家に居たままTVで品物を見ながら買い物ができるとすると、利用しますか。

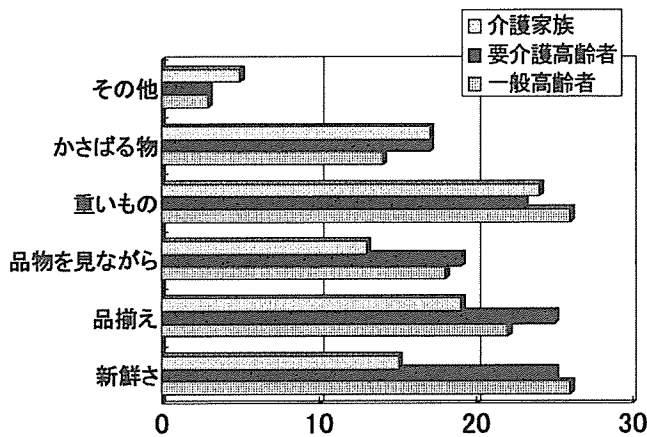


「是非利用したい」「できれば利用したい」と答えたものは、一般高齢者で22.9%、要介護高齢者で26%、介護家族で23.6%であった。

「あまり利用しない」「全く利用しない」では、一般高齢者で61.4%、要介護高齢者で42.6%、介護家族で42.7%であった。

図9: 遠隔買い物システムを利用するか?

問9 利用するとしたら、どのような買い物を頼みたいですか。(複数回答可)



一般高齢者、要介護高齢者、介護家族の3者を合計すると、「1. 近所では買いにくい新鮮なものを選びたい」が66名、「2. 品揃えが良く色々な種類を選びたい」66名、「3. TVを見ながら欲しいものを見つけたい」50名、「4. 重たくて運びにくいものを頼みたい」73名、「5. 大きくてかさばるものを頼みたい」48名、「その他」11名であった。

図10: 頼みたい買い物は?

重くて運びにくい買い物を頼み

たいがもっとも多かった。

問10 配達料金はいくらまで可能でしょうか。

配達料金は、300円が最も多く、次に500円、700円、1000円と金額が高くなるにつれて、回答者が少なくなった。

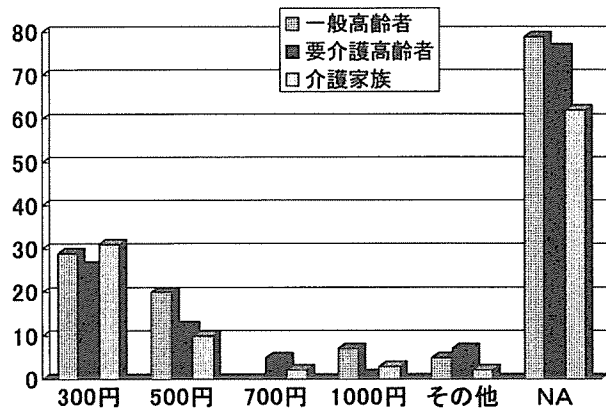


図11: 配達利用料金の限度は?

第4章 健康相談・介護予防システム

1. 新見まごころネットについて

新見まごころネットは、利用登録した在宅高齢者が自宅のパソコンからまごころネットのホームページにアクセスし、健康生活チェックを行う。そのデータはA市の管理サーバーにストックされ、短大教員の担当者が、そのデータを閲覧し利用者の情報を管理している。同時に利用者は、電子メールを介して具体的な生活状況や健康相談などを送信する。そのメールは短大の新見まごころネットアドレスへ送られてくる。毎日一人の教員が担当者となり、健康情報とメールの相談内容を基に、各利用者へ個別の電子メールを発信している。

新見まごころネットの仕組みは、利用登録者が個別のIDアドレスおよびパスワードによってホームページにアクセスすることで利用できる。ホームページでは、本日の健康に関する12項目と昨日の生活の様子に関する7項目のチェック項目が用意されており、それぞれに「はい」「いいえ」で回答クリックする。個人的な情報はセキュリティで守られ、担当者以外には閲覧できないように、当短大の設置母体である広域事務組合の管理サーバーにストックされる。

2. プログラムの改良

従来の方法は、利用者が送信した健康チェックや生活状況データと担当者のPCデスクトップにダウンロードし、統計ソフトでデータを読み替えた後、管理ファイルにコピーして保管していた。また、送信されたデータの管理とは別に、日々のメッセージは電子メールでやり取りを行なうシステムであったため、データ処理などの業務が煩雑であった。さらに、現在は利用者が10数名であるため、この方法で何とか対応が行えているが、諸データの管理や日々の担当業務の負担度などの点から、利用者数が増加した場合には、従来の方法では対応が困難であることが予想されていた。加えて、まごころネットのホームページは、利用登録された利用者のみがアクセス可能であること、利用者の新規登録のシステムが複雑であることなどの課題も抱えていた。

そこで、2006年度は、上記の課題を明らかにするとともにプログラムの改良をIT企業との検討会を行い、2007年度に新ホームページに移行する準備を進めた。新ホームページでは、利用者登録していない一般にもアクセス可能なページを作成して、健康に関する情報の発信や新規利用者の促進につなげる。また、利用者の健康チェックしたデータがグラフ化され、さらに利用者個人のブログ作成が可能になるなど、利用者においても有意義な計画となった。

3. 健康相談・介護予防支援システムの開発および運用

ブロードバンド回線の普及していない山間地域で、地域の高齢者がその生活圏内においてICTを使って自宅にいながら健康相談・生活指導が受けられる「新見まごころネット」を利用することによるコミュニケーションシステムの効果を検証する。

新見まごころネットは、在宅高齢者がネットサイトにアクセスし、健康・生活チェックのデータとメール相談に対応するシステムである。そのメール内容から生活に関する内容を傾向を分析しシステムの有効性を検討する。さらに利用者同士のオフ会開催の意義と効果を明らかにしシステムプログラムの改良点を明らかにする。

メール内容 531 件から生活に関する内容 767 件を分析した結果、時候・気候、趣味、昔話、家族などの 13 カテゴリーに分類することができた。時候・気候に関する内容が最も多く、趣味、農作業の順であった。時候・気候では、時候の挨拶に始まりその日の天候に関する話題、趣味では、デジカメ撮影による風物誌の紹介など、お茶やお花、季節の野菜を素材にした料理の紹介、旅行の話など多彩で幅広い趣味の話題であった。自然に囲まれた地域であるため、利用者は季節ごとの行事や農作業の様子など、自然の移り変わりを肌で感じられる内容である。また、メール送信時間はほぼ固定されており、日々の生活の中に定着していた。

一方、オフ会に参加した利用者の反応は、直接的に話をすることで親睦が図れ名刺交換やメールアドレスの交換などが行われた。オフ会前後のメールの変化では、オフ会前には期待の内容が多く、オフ会後は楽しく過ごせたなど満足感のある内容がみられた。アクセス件数も若干ではあるが増加傾向にあった。

利用者は日々の活動や思いなど電子メールを通して他者に伝える楽しみになっている。生活ニーズは相談助言を受けるというより、むしろ「高齢者の知恵」の発信の意味が大きく、“伝える、教える”といった積極的な意識が強くみられた。日々の暮らしを伝えようとこまごまとした出来事にも喜びや発見を見出す意識が高まり生活の張りになっている。さらに、メール交換を介して社会参加の機会となり生きがいにつながっている。山間地域で、在宅高齢者の閉じこもりなどへの対策として、電子メールでの交流は有効な手段の一つとなり、高齢者の生きがいや介護予防への効果が期待できる。

また、オフ会はネットに参加するまで全く面識のない人同士が、参加することでお互いの情報交換ができ地域ネットワークの構築の一助となっている。また、双方の顔がみれたことで親近感が深まり安心してネットへの参加が可能になったといえる。

利用者にとって、生活に関する相談をホームページや電子メールを通して他者に伝える楽しみ、生きがいにつながっている。また、利用者同士の交流としてのオフ会は情報交換の場でありネット上での温かい交流であることから、笑顔を引き出すための有効な方法であることを見出すことができた。

そこで、2006年7月から2007年3月の期間において、プログラムシステムの改良・開発を行った。

4. 新見まごころネット改良による使用マニュアル

目次

1 管理機能を使うには (ログイン)	1
2 会員ユーザを追加 (変更・削除) するには	2
3 管理者を追加 (変更・削除) するには	4
4 コラムを追加 (変更・削除) するには	6
5 掲示板 (BBS) にコメントするには	13
6 ブログで不適切な内容が掲載された場合には	16
7 よくある質問を追加 (変更・削除) するには	18
8 リンク集を追加 (変更・削除) するには	23
9 健康データを閲覧するには	27
9.1 チェックデータを閲覧するには	27
9.2 健康データの推移を確認するには	29
10 管理者自身の設定を変更するには	30
11 不適切語句を追加 (変更・削除) するには	31

新見まごころネット

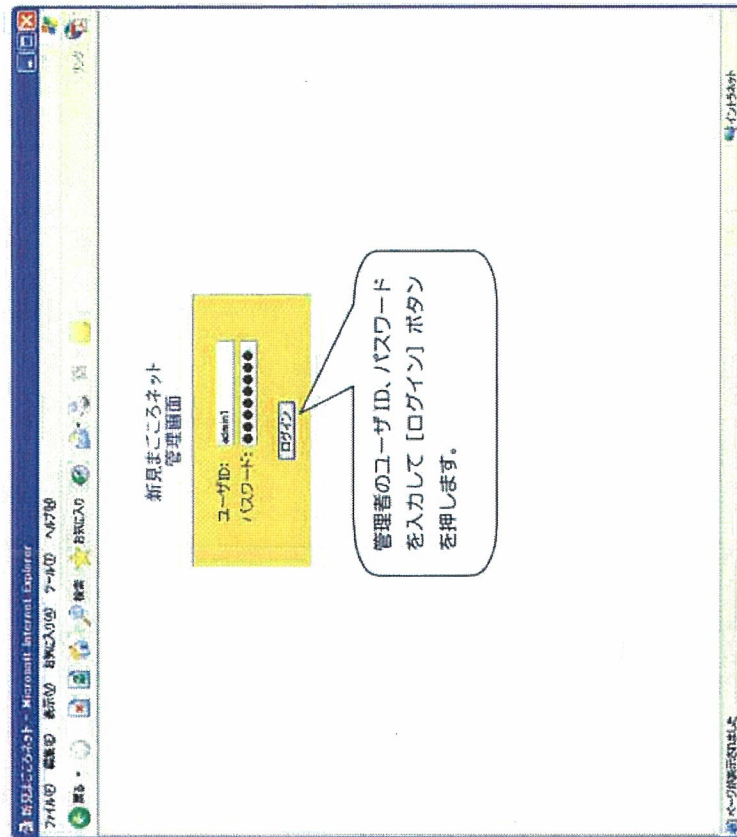
管理者操作マニュアル

2006年12月

株式会社ワコムアイティ

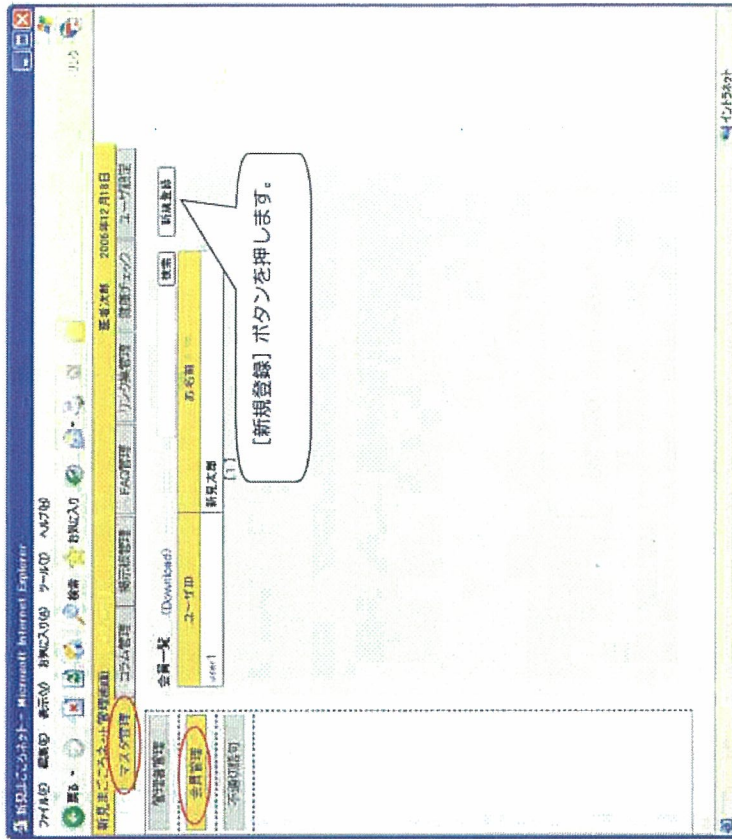
1 管理機能を使うには (ログイン)

- (1) Web ブラウザで以下の URL にアクセスします。
`http://xxxxxx/magokoro/index.php?module=Admin&Action=DefaultIndex`
- (2) ユーザー ID とパスワードを正しく入力して [ログイン] ボタンを押します。



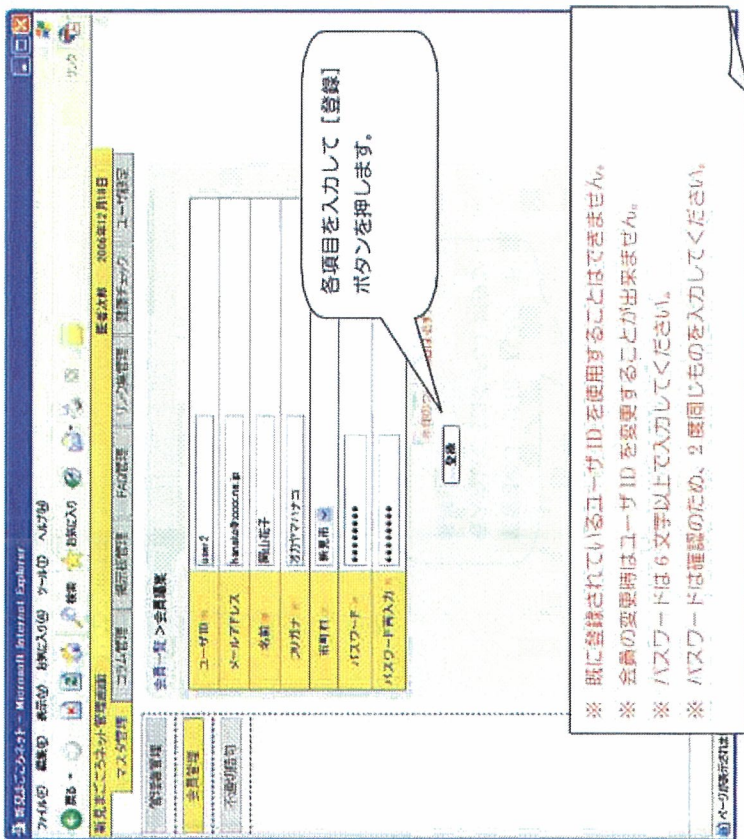
2 会員ユーザを追加 (変更・削除) するには

- (1) 「マスタ管理」メニューの「会員管理」をクリックします。
- (2) [新規登録] ボタンを押します。



- ▶ 会員を変更・削除する場合は、一覧のユーザーID をクリックします。
- ▶ 一覧上部の「(Download)」をクリックすると、会員の一覧を CSV 形式でダウンロードすることができます。
- ▶ キーワード欄に語句を入力して [検索] ボタンを押すと、ユーザーID または名前前で検索することができます。

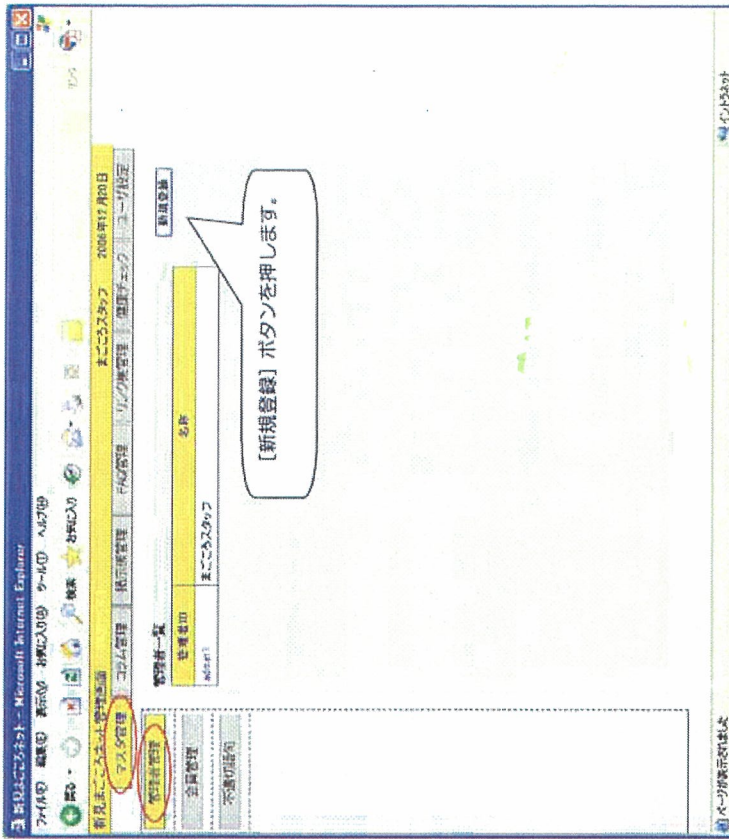
(3) 各項目を入力して、[登録] ボタンを押します。



▶ 会員を変更・削除する場合は、[更新] または [削除] ボタンを押します。

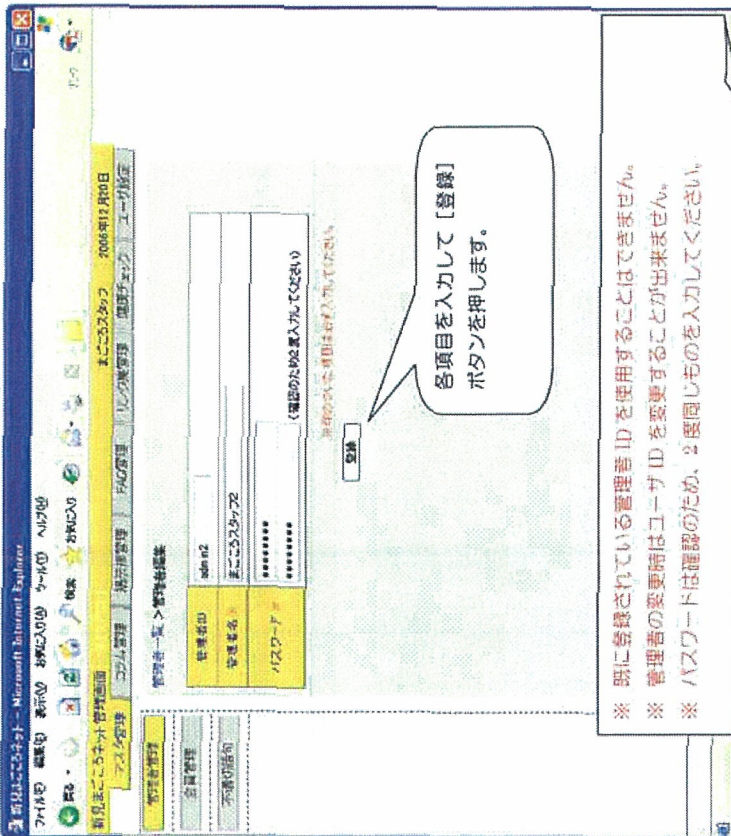
3 管理者を追加（変更・削除）するには

- (1) 「マスタ管理」メニューの「管理者管理」をクリックします。
- (2) [新規登録] ボタンを押します。



▶ 管理者を変更・削除する場合は、一覧の管理者ID をクリックします。

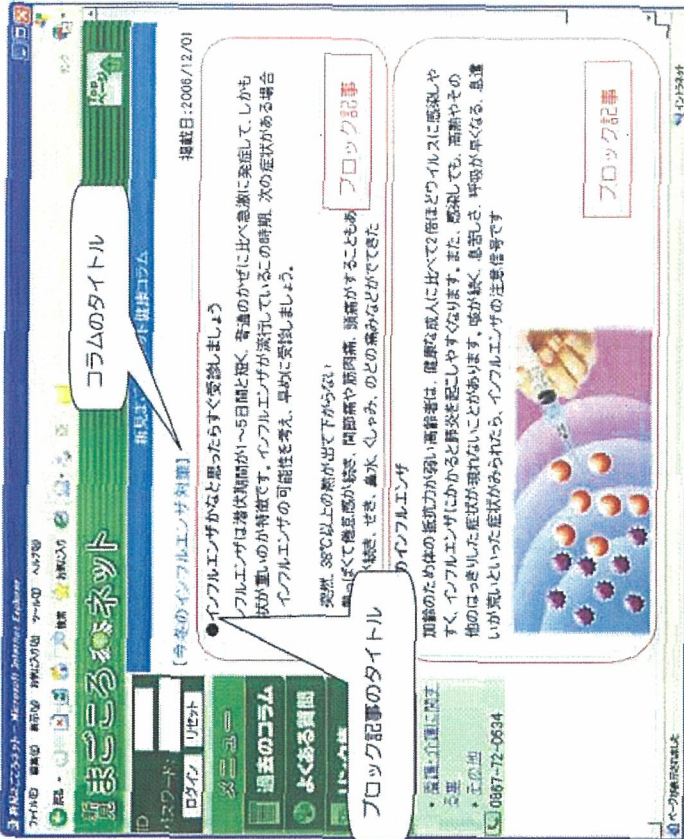
(3) 各項目を入力して、[登録] ボタンを押します。



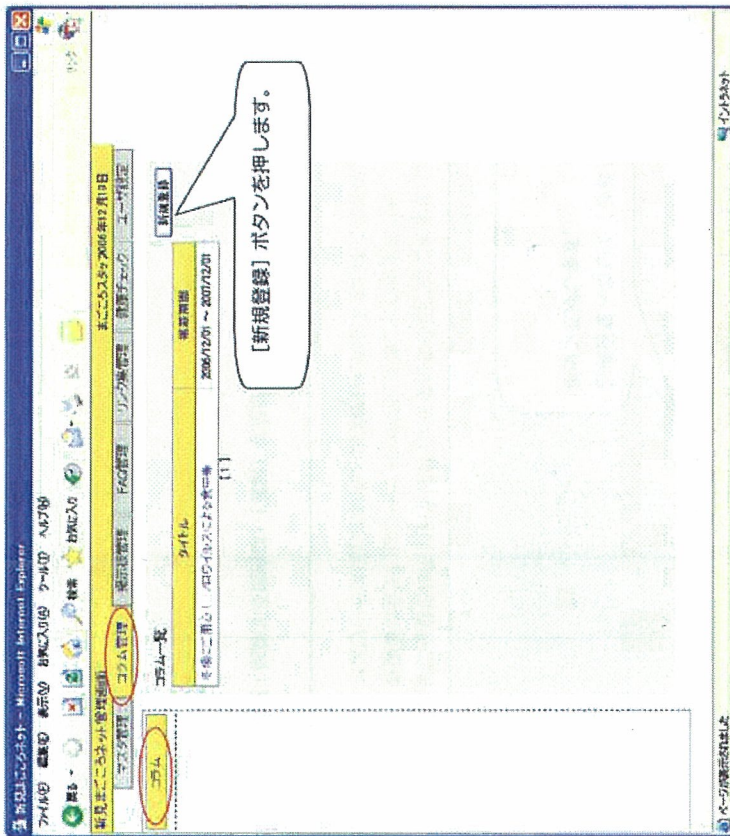
▶ 管理者を変更・削除する場合は、[更新] または [削除] ボタンを押します。

4 コラムを追加 (変更・削除) するには

以下のようなコラム (お知らせ) を掲載することができます。
 コラムは複数のブロック記事を組み合わせることで構成します。

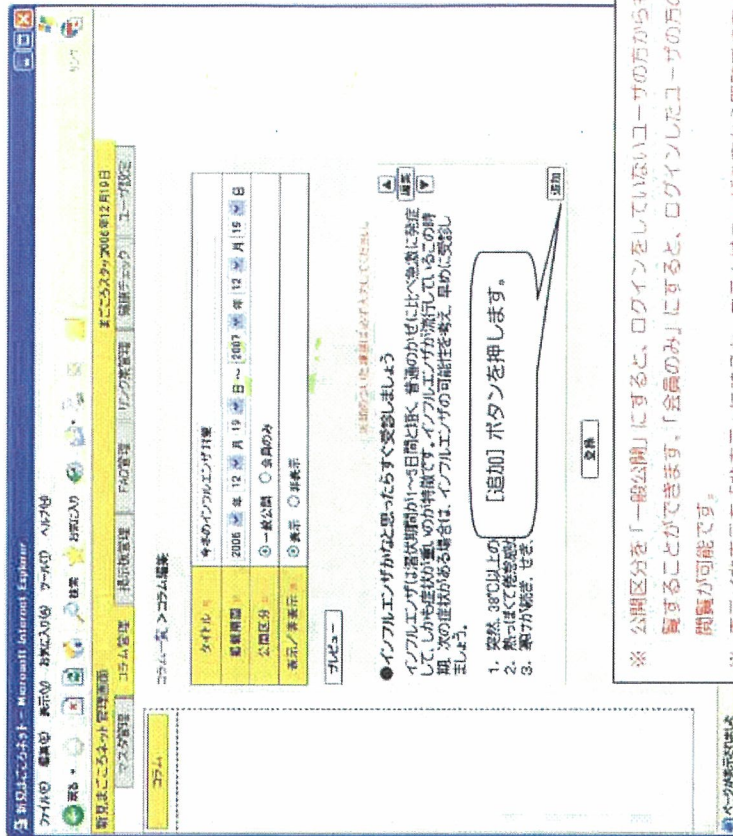


- (1) 「コラム管理」メニューの「コラム」をクリックします。
- (2) 「新規登録」ボタンを押します。



- ▶ コラムの記事を変更・削除する場合は、一覧のタイトルをクリックします。

- (3) コラム全体のタイトルや掲載期間などの各項目を入力します。
- (4) コラムのブロック記事を編集するため、[追加] ボタンを押します。

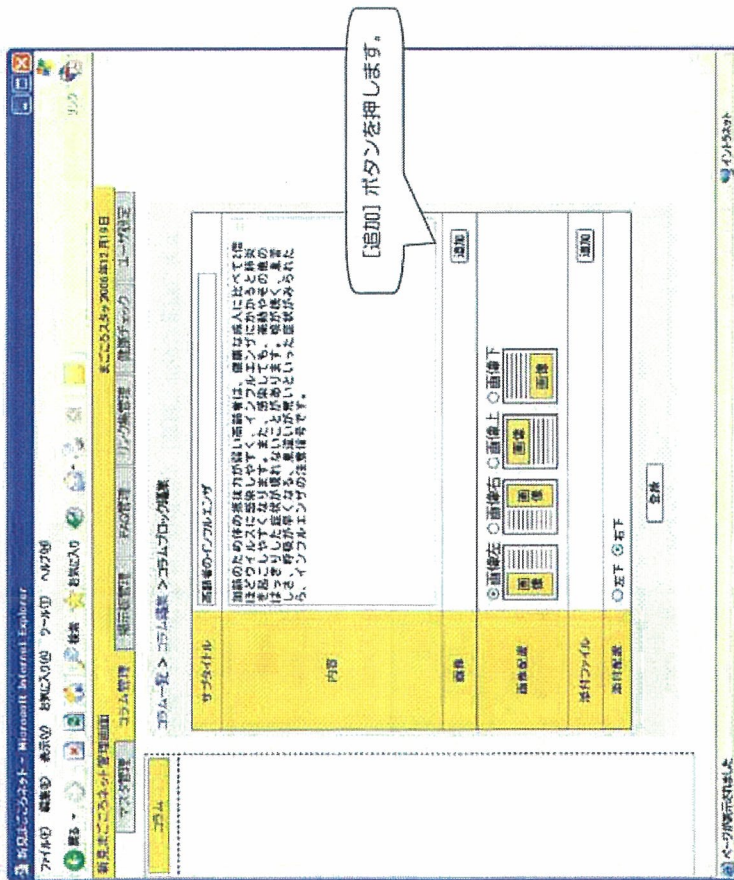


※ 公開区分を「一般公開」にすると、ログインをしていないユーザの方からも閲覧することができます。「会員のみ」にすると、ログインしたユーザの方のみ閲覧が可能です。

※ 表示/非表示を「非表示」にすると、コラムはユーザの方から閲覧できなくなります。

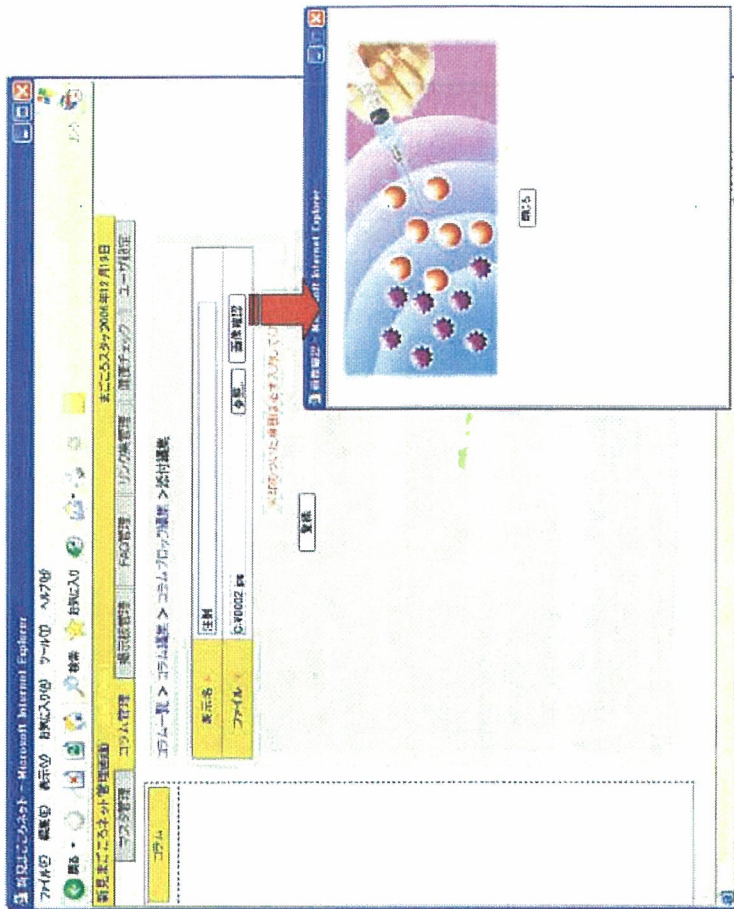
- ▶ ブロック記事を変更・削除する場合は、変更・削除したい記事右側の [編集] ボタンを押します。
- ▶ 複数あるブロック記事の掲載順を変えたい場合は、記事右側の [▲] (上へ) ボタンまたは [▼] (下へ) ボタンを押します。

- (5) ブログ記事のタイトルや内容などの各項目を入力します。
- (6) 画像や添付ファイルを掲載する場合は、それぞれの【追加】ボタンを押します。



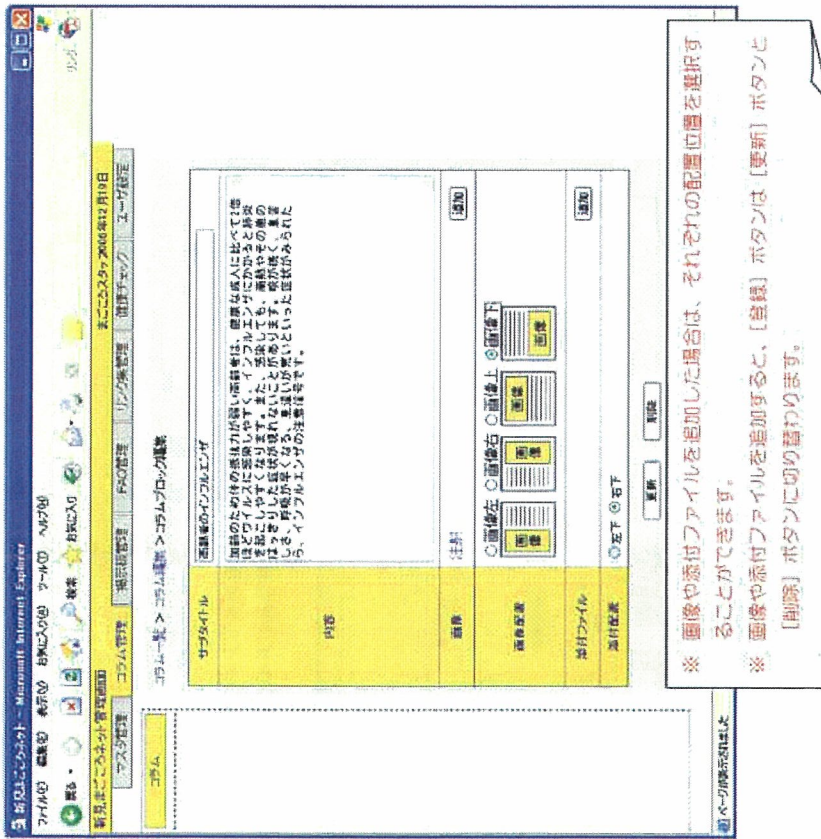
- ▶ 画像や添付ファイルを追加した場合、各欄に表示名が表示されます。
- ▶ 画像や添付ファイルを変更・削除する場合は、それぞれの表示名をクリックします。

- (7) 掲載したい画像や添付ファイルを選択し、表示名を入力します。
- (8) 【登録】ボタンを押します。



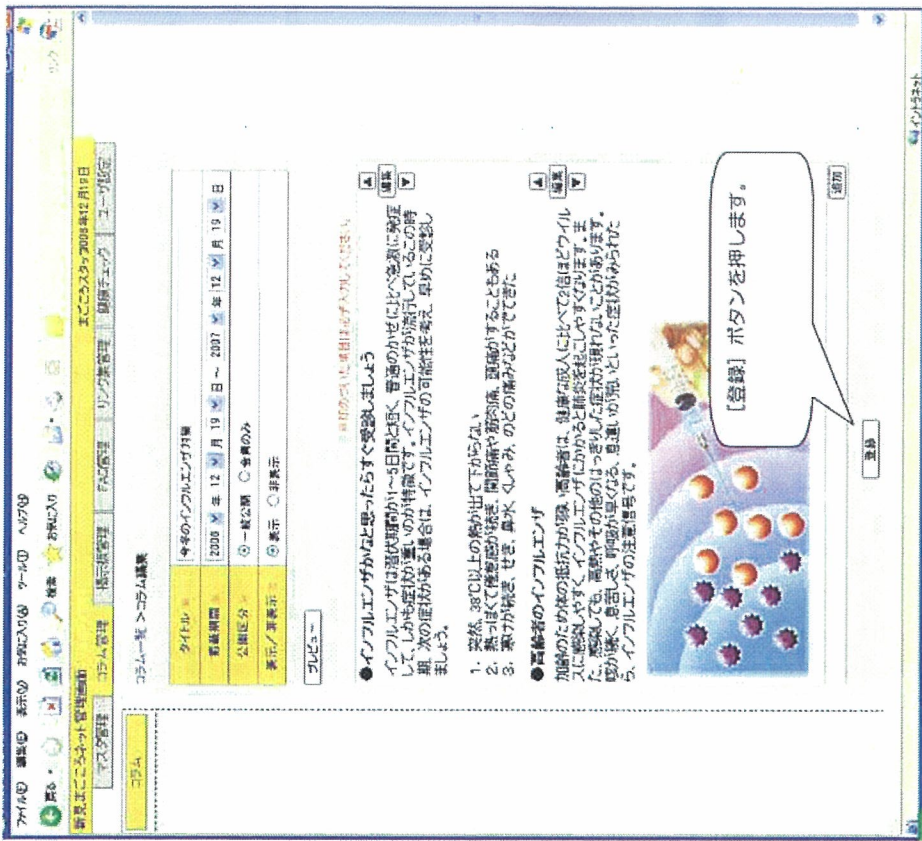
- ▶ 画像を追加する場合、画像ファイルを選択してから【画像確認】ボタンを押すと別ウィンドウで画像を確認することができます。
- ▶ 画像または添付ファイルを変更・削除する場合は、【更新】または【削除】ボタンを押します。

(9) 前画面に戻るので、[更新] ボタンを押します。



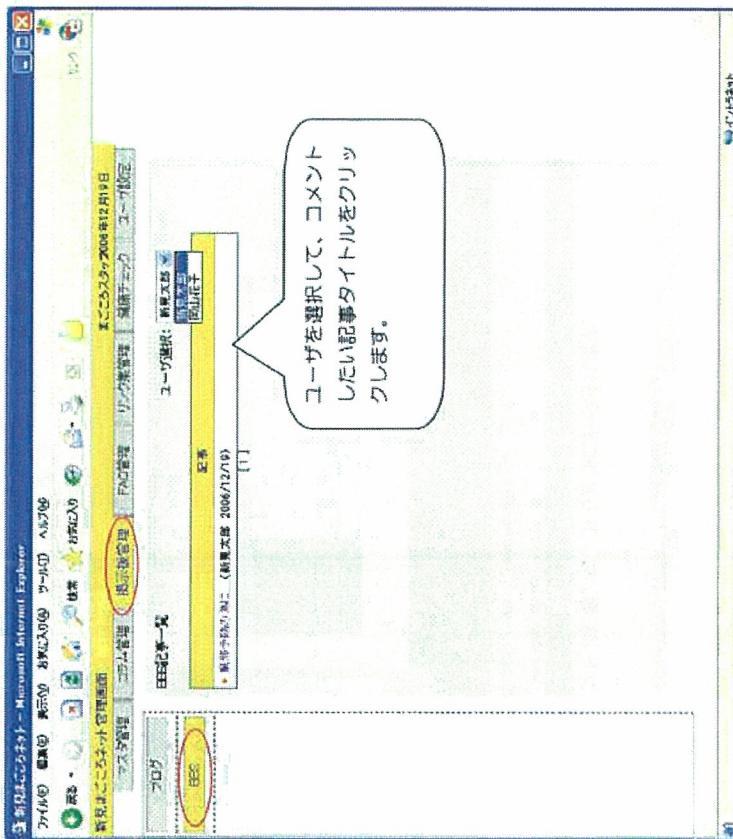
▶ 画像や添付ファイルを追加しなかった場合は [登録] ボタンを押します。

(10) (4) ~ (9) の手順を同様に繰り返して、掲載するブロック記事を全て編集したら [登録] ボタンを押します。



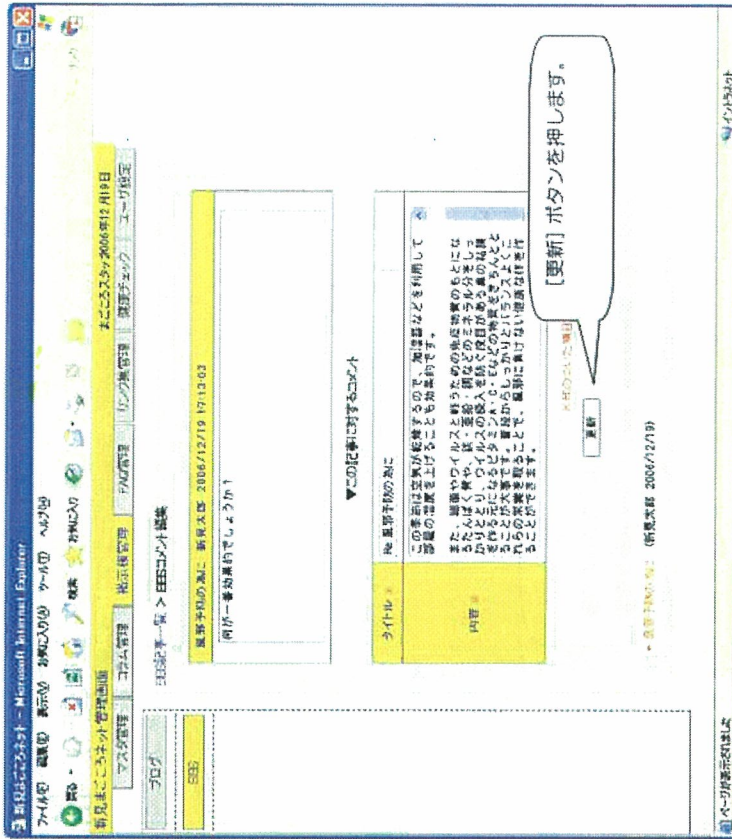
5 掲示板 (BBS) にコメントするには

- (1) 「掲示板管理」メニューの「BBS」をクリックします。
- (2) 投稿ユーザを選択すると、記事一覧が変わります。
表示中の記事一覧から、コメントをしたい記事のタイトルをクリックします。



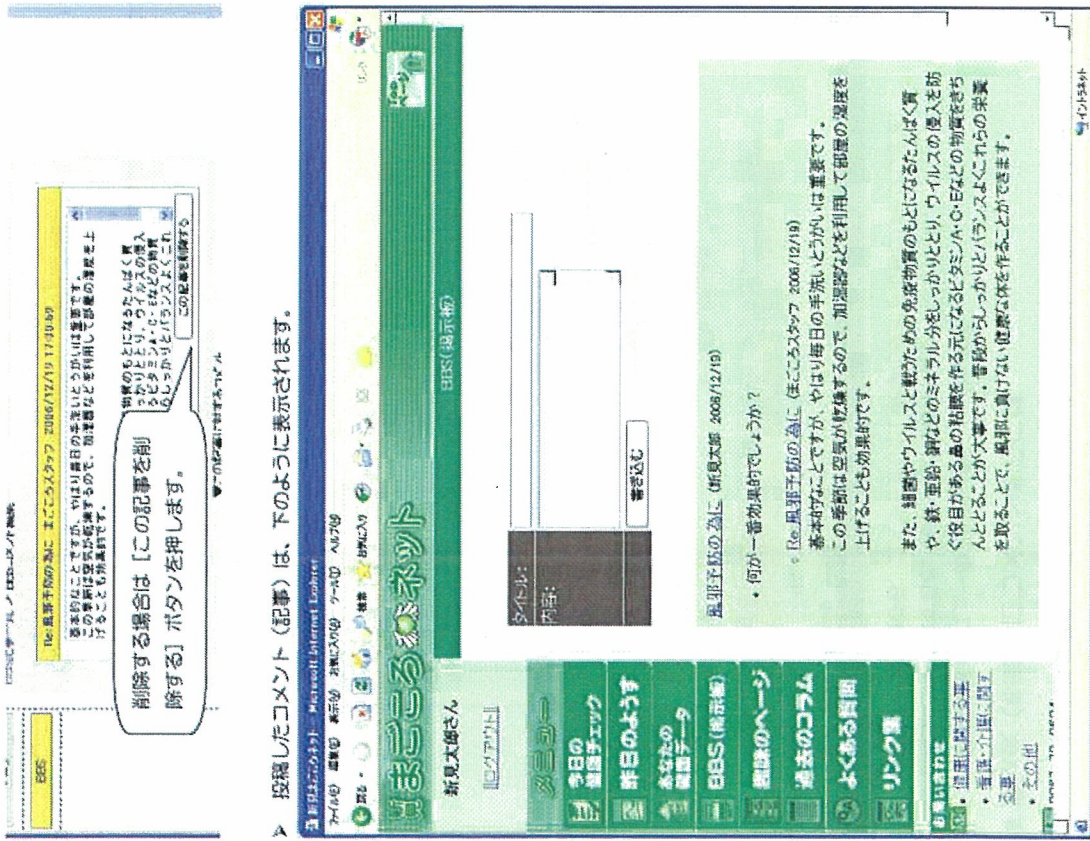
- ▶ 自身がコメントしたものは削除することができます。削除する場合は、削除したいコメント (記事) タイトルをクリックします。

- (3) 各項目を入力して「更新」ボタンを押します。



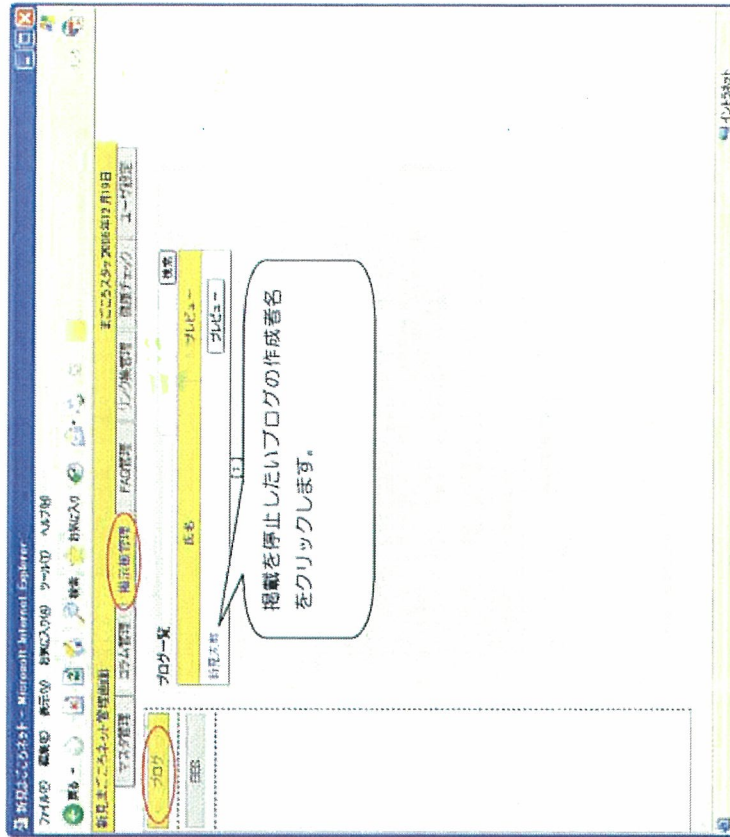
- ▶ 下部に関連記事がツリー表示されます。記事のタイトルをクリックすると、選んだ記事へのコメント編集画面が表示されます。

- 表示中の記事が、自身が投稿したコメントの場合は削除することができます。
削除する場合は【この記事を削除する】ボタンを押します。



6 ブログで不適切な内容が掲載された場合には

- 「掲示板管理」メニューの「ブログ」をクリックします。
- 掲載を停止したいブログの作成者名をクリックします。



- キーワード欄に語句を入力して【検索】ボタンを押すと、名前で検索をすることができます。
- 各【プレビュー】ボタンを押すと、選択したブログの内容を別ウィンドウで確認することができます。